



エピソード

スプーンで水を混ぜたり、手を止めてボウルの中をじっと見たりしていた A 児は、保育者に「先生見て、吸い込まれるねん」と言い、ボウルの中を指さしました。水の渦のことを「吸い込まれる」と言う本児の表現や気づきに保育者も共感すると A 児は嬉しそうな表情を見せました。

保育者が、他にも混ぜるものがあったら面白いかなと思い石を見せると、A 児は石や近くにあった枝や草を順に入れその度混ぜたり、手を止めて混ぜたものが水の流れて中心に集まる様子をじっと見たりしながら「これも吸い込まれた」と笑顔を見せました。

ビオラの花があることも知らせると A 児は「ちょうだい。お花は色変わるで」と言って混ぜましたが、しばらくすると「えっと、、、これや」と言い、スプーンからすりこぎに持ち替えてボウルの水を混ぜ始めました。そして「やっぱりお花も吸い込まれるわ」と言い、ボウルにビオラを入れて混ぜたり、渦を見たりすることを楽しんでいました。

保育者の思い

☆混ぜると水の渦ができることに気づき、繰り返し渦を作ったり見たりしていた A 児。できた渦を「吸い込まれる」と表現する姿が面白いと感じました。

☆水の渦に他の素材が入ることで、渦が分かりやすくなるため、より渦や素材のおもしろさを味わってほしいと思い、自然物があることを知らせてみました。

☆ビオラを使って色水遊びをしていた時に使っていたすりこぎを、選んで持ってくる姿から、自分の経験や使う用途に合わせて道具を選んでいる様子が見られ、成長を感じました。

● 子どもの育ちや学び

言葉を使った表現

水が渦巻く様子を「吸い込まれる」と自分なりの言葉で表現していました。

水の性質

水を混ぜると流れの渦ができることや渦の中心があることにそれとなく気づいていました。

遊びに必要な道具の選択

過去に、草花をすりこぎでつぶして、色水を作っていた遊びの経験が繋がっていたと感じました。

家庭だったら・・・

・プールやお風呂で遊ぶときに、玩具のスプーン等、様々な種類の道具を用意してみると、子ども達の発見が生まれるかもしれません。

・語彙数が増えてきた子ども達。ご家庭でも言葉のやり取りや言葉での表現を楽しんでほしいと思います。